

**2011年7月改訂 (第5版)

*2008年1月改訂

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	(61AM)3908
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法	できるだけ湿気を避け、直射日光のあたらない涼しい場所に保管のこと。開封後は特に湿気を避け、フタをよく閉める等取扱いに注意のこと。
----	--

使用期限：外箱・容器に表示

漢方製剤 (柴胡桂枝乾姜湯)

太虎堂の柴胡桂枝乾姜湯エキス顆粒

*〔組成・性状〕

本品7.5g中

日局サイコ …………… 6.0g 日局カンゾウ …………… 2.0g

日局ケイヒ …………… 3.0g 日局カロコン …………… 3.0g

日局オウゴン …………… 3.0g 日局カンキョウ …………… 2.0g

日局ボレイ …………… 3.0g

上記生薬より抽出した水製乾燥エキス3580mgを含有する。
添加物として日局乳糖水和物、日局ステアリン酸マグネシウムを含有する。

性状：本品は淡黄色～淡灰色の顆粒剤で、特異なにおいがあり、味はわずかに甘苦い。

識別コード：Tui TM-11

〔効能・効果〕

体力が弱く、冷え症、貧血気味で動悸、息切れがあり、神経過敏のものの次の諸症：更年期障害、血の道症、不眠症、神経症

〔用法・用量〕

通常成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

〔使用上の注意〕

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証(体質・症状)を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。

(3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意 (併用に注意すること)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1) カンゾウ含有製剤 (2) グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。(「重大な副作用」の項参照)	グリチルリチン酸は尿管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1) 重大な副作用

- 1) 間質性肺炎：発熱、咳嗽、呼吸困難、肺音の異常(捻髪音)等があらわれた場合には、本剤の投与を中止し、速やかに胸部X線等の検査を実施するとともに副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。また、発熱、咳嗽、呼吸困難等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。
- 2) 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察(血清カリウム値の測定等)を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 3) ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

4)肝機能障害、黄疸：AST(GOT)、ALT(GPT)、Al-P、
γ-GTP等の著しい上昇を伴う肝機能障害、黄疸が
あらわれることがあるので、観察を十分に行い、異
常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置
を行うこと。

(2)その他の副作用

	頻度不明
過敏症 ^{注1)}	発疹、発赤、瘙痒等

注1)このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する
など注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊
婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有
益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する
こと。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。[使用経験が
少ない]

*〔包装〕

500g、2.5g×84包、2.5g×252包

**〔文献請求先〕

太虎精堂製薬株式会社 薬事情報部
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通2丁目1番27号
TEL (078) 232-1015 FAX (078) 232-1077